第77期(中間期)

株主通信

2012年4月1日 - 2012年9月30日

自然と健康を科学する

目 次

P1 ● ごあいさつ
P2 ● 事業概況
P5 ● 連結財務諸表
P6 ● 2012-2015年度 中期経営計画
P10 ● 会社の概要・株式の状況

株式会社ツムラ

証券コード：4540

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年6月28日付をもちまして代表取締役社長に就任いたしました加藤照和でございます。

私は、現会長の芳井が社長時代に進めてまいりました経営方針を踏襲いたしまして、企業価値のさらなる向上に努めてまいりたいと考えております。何卒、宜しくお願い申し上げます。

さて、ここに第77期(中間期)株主通信をお届けし、事業活動の概況、本年11月8日に公表しました新たな中期経営計画等につきまして、ご報告いたします。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【略歴】

1986年 4月 当社入社
2001年 8月 TSUMURA USA,INC.取締役社長
2006年 1月 当社広報部長
2007年 4月 当社理事
コーポレート・コミュニケーション室長
2011年 6月 当社取締役執行役員
コーポレート・コミュニケーション室長
2012年 6月 当社代表取締役社長

代表取締役社長 加藤 照和

事 業 概 況

1 経営方針

当社は、「自然と健康を科学する」という経営理念の下、医療用漢方製剤を通じて「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献する」ことを企業使命とし、この理想的な医療の実現のために着実に前進しております。

2 業績の概要

①連結業績

当第2四半期連結累計期間（2012年4月1日から2012年9月30日）の売上高は、薬価引き下げの影響を受けながらも、前年同期に比べ11.3%増の510億4千8百万円となりました。

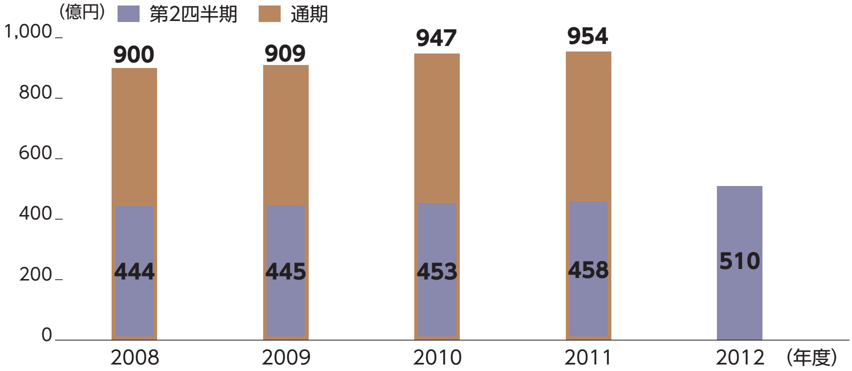
利益につきましては、営業利益110億3千4百万円（前年同期比12.2%増）、経常利益109億7千6百万円（前年同期比10.7%増）、四半期純利益68億8千4百万円（前年同期比33.9%増）となりました。売上原価率は、薬価引き下げや、原料生薬単価増等の影響により前年同期に比べ悪化したものの、売上高の伸長等により営業利益率は21.6%となり、営業利益、経常利益は第2四半期において過去最高益となりました。

また、当第2四半期の売上高は、2012年5月10日に公表しました連結業績予想に比べ6.8%上回る結果となりました。利益につきましても、営業利益で25.4%増、経常利益で23.3%増、四半期純利益で22.9%増となり、連結業績予想を上回りました。当初公表いたしました業績予想は、東日本大震災後、各医療機関への処方日数短縮のお願いや漢方医学セミナー等開催を自粛したこと等の影響を受けた前期業績に基づき慎重に策定いたしました。しかしながら、当期においては、前期後半より行ってまいりました営業施策等が着実に成果となり、医療用漢方製剤の売上伸長トレンドは、東日本大震災前の水準への回復を確認できる結果となりました。

（単位：百万円）

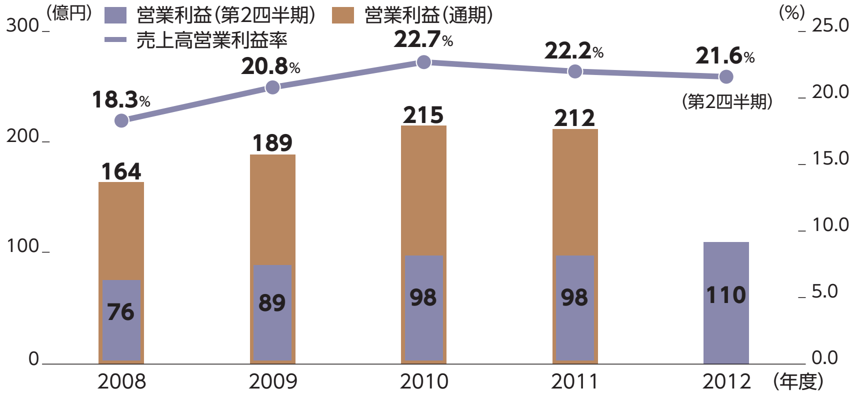
区　分	前第2四半期（2011年度）	当第2四半期（2012年度）	増減額	前年同期比
売上高	45,862	51,048	5,185	11.3%
営業利益	9,831	11,034	1,203	12.2%
経常利益	9,911	10,976	1,065	10.7%
四半期純利益	5,141	6,884	1,742	33.9%
医療用漢方製剤129処方売上高合計	43,431	48,330	4,899	11.3%

■売上高



2008年度には、ツムラライフサイエンス株式会社の株式譲渡、また、医療用外用抗真菌剤「アスタット」の製造販売権を譲渡しております。

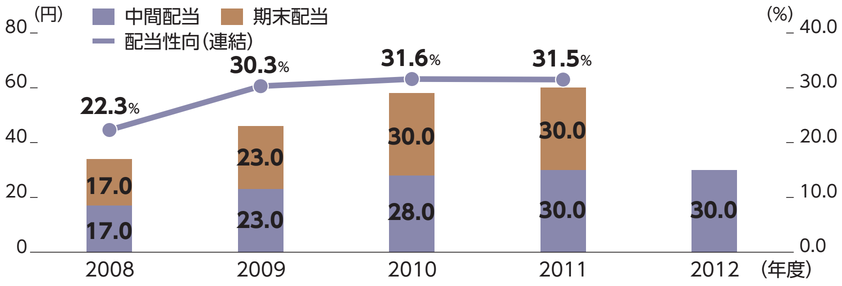
■営業利益／売上高営業利益率



②配当について

2013年3月期中間配当金は1株当たり30円といたします。また、期末配当予想は、2012年5月10日公表の1株当たり30円の予想から2円増額し、32円といたします。

■配当金の推移



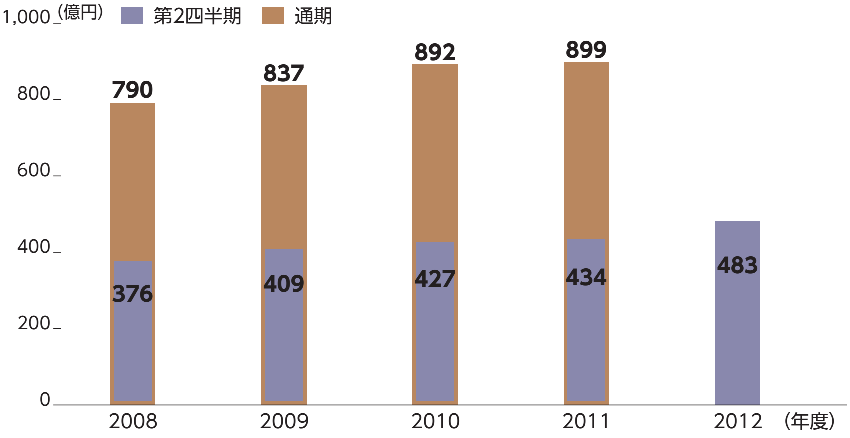
③医療用漢方製剤の概況

■医療用漢方製剤　売上高上位10処方

（単位：百万円）

処方名	主に使われている疾患・症状	前第2四半期（2011年度）	当第2四半期（2012年度）	増減額	前年同期比
1. 大建中湯（だいけんちゅうとう）	イレウスに伴う腹痛、腹部膨満感など	4,055	4,460	404	10.0%
2. 補中益気湯（ほちゅうえっきとう）	術後の体力増強、食欲不振 など	2,967	3,414	446	15.0%
3. 六君子湯（りっくんしとう）	胃炎、食欲不振、機能性の胃腸症など	2,529	3,021	492	19.5%
4. 抑肝散（よくかんさん）	認知症にみられる周辺症状（神経症） など	2,298	3,000	702	30.6%
5. 加味逍遙散（かみしょうようさん）	更年期障害に伴う様々な症状 など	1,826	2,060	233	12.8%
6. 芍薬甘草湯（しゃくやくかんぞうとう）	筋肉のけいれんを伴う痛み（こむらがえり など）	1,731	1,947	216	12.5%
7. 牛車腎気丸（ごしゃじんきがん）	頻尿、腰痛、しびれ（糖尿病性神経障害、抗がん剤の副作用緩和 など）など	1,769	1,894	124	7.1%
8. 柴苓湯（さいれいとう）	浮腫を伴う疾患、急性胃腸炎 など	1,726	1,710	△ 15	△ 0.9%
9. 麦門冬湯（ばくもんどうとう）	咳 など（感冒、気管支炎 など）	1,453	1,681	227	15.6%
10. 防風通聖散（ぼうふうつうしょうさん）	肥満症、むくみ、便秘 など	1,260	1,336	75	6.0%
医療用漢方製剤129処方合計		43,431	48,330	4,899	11.3%

■医療用漢方製剤129処方売上高



ワンポイント解説

医療用漢方製剤の売上高は、129処方中119処方が前年同期を上回りました。様々な領域疾患において漢方製剤の使用が広がり、医療用漢方製剤全体の売上高は、前年同期に比べ11.3%伸長いたしました。

連 結 財 務 諸 表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2012年3月31日現在)	当第2四半期末 (2012年9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	86,330	**87,429**	1,098
固定資産	65,544	**67,745**	2,201
有形固定資産 Point 1	44,869	**47,319**	2,449
無形固定資産	227	**232**	4
投資その他の資産	20,446	**20,193**	△253
資産合計	151,874	**155,175**	3,300
負債の部			
流動負債	41,539	**40,383**	△1,156
固定負債	8,093	**8,131**	37
負債合計	49,633	**48,515**	△1,118
純資産の部			
株主資本	100,300	**105,068**	4,768
その他の包括利益累計額	619	**157**	△462
少数株主持分	1,321	**1,433**	112
純資産合計	102,240	**106,659**	4,418
負債純資産合計	151,874	**155,175**	3,300

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	増減
売上高	45,862	**51,048**	5,185
売上原価 Point 2	14,167	**17,096**	2,929
売上総利益	31,695	**33,951**	2,256
販売費及び一般管理費	21,864	**22,917**	1,053
営業利益	9,831	**11,034**	1,203
営業外収益	350	**306**	△43
営業外費用	270	**364**	94
経常利益	9,911	**10,976**	1,065
特別利益	—	**0**	0
特別損失	1,027	**67**	△959
税金等調整前四半期純利益	8,883	**10,908**	2,025
法人税等	3,697	**3,955**	258
少数株主利益	44	**68**	23
四半期純利益	5,141	**6,884**	1,742

Point 1

今後の需要増に備えた設備投資に伴う増加。静岡工場の新生薬倉庫棟建設工事、茨城工場の新造粒棟建設工事、上海津村における第2スプレードライ棟の第2期増設工事等が主なものとなります。

Point 2

薬価改定による販売平均単価の減少および原料生薬の単価増等により、原価率は前年比で2.6ポイント悪化しましたが、売上高の伸長等により営業利益、経常利益は第2四半期において過去最高益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,662	**3,680**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,123	**△ 4,233**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,145	**△ 2,143**
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	**224**
現金及び現金同等物の増減額	△ 567	**△ 2,472**
現金及び現金同等物の期首残高	17,198	**13,906**
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,631	**11,434**

2012-2015年度 中期経営計画

“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して

当社は、本年11月8日に、長期的な経営ビジョン(2021年ビジョン)である「“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して」に基づいた、4ヵ年(2012−2015年度)の中期経営計画を公表しました。

この新中期経営計画は、「**価値創造に向けた成長基盤の強化**」をテーマとして掲げています。また、具体的な戦略課題として、日本国内における医療用漢方製剤市場の拡大、新生産技術の導入等による「コスト構造改革」の実現、財務・資本政策の遂行による企業価値の拡大の3点をあげています。

当社は、新中期経営計画を2021年ビジョンの実現に向けたマイルストーンとし、これら戦略課題の追求によって、持続的な成長を図っていきます。

長期経営ビジョン ～2021年ビジョン～

“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して

“漢方”のツムラ

国内の患者様が、どの医療機関・診療科においても、必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献

“人”のツムラ

世界に手本のない“漢方”ビジネスにおいて、自らが新しい道を開拓でき、誰からも信頼される“人”の企業集団へ

“グローバル・ニッチ”のTSUMURA

ツムラグループの持つ技術・ノウハウを最大限活用し、米国におけるTU-100(大建中湯)の上市、中国における原料生薬の品質向上など、新規ビジネスへの挑戦

2012-2015年度 中期経営計画

中期経営計画（2012–2015年度）
価値創造に向けた成長基盤の強化

1 漢方市場の拡大

日本国内における医療用漢方製剤市場の拡大

2 収益力の強化

新生産技術の導入等による「コスト構造改革」の実現

3 財務・資本政策

財務・資本政策の遂行による企業価値の拡大

数値目標

2015年度（2016年3月期）数値目標

売上高	1,230億円	当期純利益	190億円
営業利益	295億円	EPS	269円
売上高営業利益率	24%	ROE	14%

株主還元方針

- “漢方”が持続的に発展・成長するための事業投資を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準等を勘案し、安定的な配当を実施
- 機動的な自社株式取得を検討

2012-2015年度 中期経営計画

戦略課題

1 漢方市場の拡大
～日本国内における医療用漢方製剤市場の拡大～

【国内】

「国内の患者様が、どの医療機関・診療科においても、必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献します」という2021年ビジョンに向け、諸施策を展開します。

- 医師の漢方製剤使用状況の把握と、使用状況等に応じた各種プロモーション施策の実施
- 大学病院、臨床研修指定病院、病院、医院における戦略的な処方の拡大
- 大学医学部、臨床研修指定病院等における漢方医学教育の充実へ向けた支援
- 各種漢方医学セミナーや講演会・研究会、医療機関説明会等の積極的な開催
- 質の高いエビデンスを確立するための漢方製剤の多施設二重盲検群間比較試験による臨床研究とその効果を裏付ける基礎研究の推進
- 各種学会や論文での研究成果の発表に加え、エビデンスに基づくプロモーション活動の実施

【海外】米国におけるTU-100（大建中湯）の開発

- TU-100（大建中湯）の科学的品質評価法の確立
- TU-100（大建中湯）のPhase Ⅱ試験の実施

2 収益力の強化
～新生産技術の導入等による「コスト構造改革」の実現～

漢方製剤の革新的な新生産技術導入や原料生薬の生産効率化等により、「コスト構造改革」を進め、将来の売上原価率低減に資する基盤を構築します。また、更なる販管費率の低減を目指します。

- 減価償却費等の費用増加分を吸収し得る継続的な原価低減策の検証と実現
- 省人化・省力化を実現する新製造システムの構築と稼働体制の強化
- 自社管理圃場※の拡大による原料生薬の生産効率化
- 原料生薬の栽培化技術開発および実生産化
- エビデンスに基づくプロモーション活動等による営業効率の向上

※自社管理圃場
当社の直接的な栽培指導ができ、栽培にかかるコストの把握と、それに基づく生薬の購入価格設定が可能な圃場（パートナー企業を通じて管理する圃場を含む）

2012-2015年度 中期経営計画

3 財務・資本政策

～財務・資本政策の遂行による企業価値の拡大～

【財務・資本政策】

医療用漢方製剤の持続的な売上伸長とコスト構造改革等により、収益の拡大を図ります。

さらに、原料生薬在庫のコントロール、資金効率の改善、非事業資産（有価証券の一部等）の見直し等により、資産の効率化を図ります。

【人的資本政策】

世界に手本のない“漢方”ビジネスにおいて、自らが新しい道を開拓できるプロフェッショナルな人財を養成します。さらに、生薬の栽培・加工等、“漢方”ビジネスを通じて、障がい者や高齢者の雇用機会の拡大、日本や中国、ラオスにおける生薬栽培農家の雇用機会の創出を図り、ツムラグループ独自の人的ネットワークにおける雇用の多様性（ダイバーシティ）の確立を目指します。

【環境資本政策】

漢方製剤の原料は、主に植物由来の生薬です。ツムラは、各国生薬生産地の自然環境を大切な「資本」と考えた経営を行い、持続的に生薬が調達できるための栽培研究や環境保全対策等、ツムラ独自の環境資本政策を推し進めていきます。また、生薬残さの再資源化等も進めながら、大地を起点とした「循環の仕組み」づくりに、ツムラグループ全体で取り組んでまいります。

今後もツムラは、医療用漢方製剤のトップメーカーとして、“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して、全社一丸となり新中期経営計画に取り組んでまいります。

会社の概要・株式の状況（2012年9月30日現在）

●会社概要

本　　社	東京都港区赤坂二丁目17番11号
創　　業	1893年（明治26年）4月10日
設　　立	1936年（昭和11年）4月25日
資 本 金	194.87億円
従業員数	（単体）2,334名（就業人員数） （連結）2,836名（就業人員数）

●取締役および監査役の状況

地　位	氏　名	担当等
取締役会長	芳 井 順 一	渉外調査室担当 （中国特命担当）
取締役社長 （代表取締役）	加 藤 照 和	経営企画室、秘書室担当
専務取締役 執行役員	田 中 典 裕	医薬営業本部長
常務取締役 執行役員	杉 田 　 亨	生産本部長 兼 購買部担当
取締役 執行役員	竹 田 秀 一	信頼性保証本部長 兼 ツムラ研究所、分析センター担当
取締役 執行役員	中 山 照 也	コンプライアンス推進室長 兼 法務部、人事部、業務推進部担当
取締役 執行役員	藤 　 康 範	CSR推進室長 兼 監査室、コーポレート・コミュニケーション室、経理部、情報技術部担当
取締役 執行役員	岩 澤 　 強	生薬本部長
取締役 執行役員	髙 崎 隆 次	医薬営業本部 副本部長 兼 学術戦略統括室長
社外取締役	杉 本 　 茂	社外取締役 公認会計士、不動産鑑定士、税理士
常勤監査役	森 　 善 樹	
常勤監査役	湊 　 幸 男	
監査役	湯 佐 富 治	社外監査役 公認会計士
監査役	野 田 聖 子	社外監査役 弁護士

●連結子会社

会社名	主要な事業内容
株式会社ロジテムツムラ	運送および保管
株式会社クリエイティブサービス	薬局の経営
深圳津村薬業有限公司	原料生薬の調達・選別加工および保管
上海津村製薬有限公司	漢方エキス粉末の製造および販売
TSUMURA USA, INC.	米国における医薬品開発

●株式の状況

1 発行可能株式総数
250,000,000株

2 発行済株式の総数
70,771,662株
（自己株式 245,022株を含む）

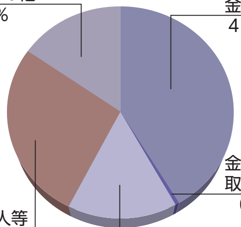
3 株主数
11,263名

4 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	6,889	9.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,618	6.55
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,197	3.12
ツムラグループ従業員持株会	1,883	2.67
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	1,610	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	1,603	2.27
第一三共株式会社	1,525	2.16
全国共済農業協同組合連合会	1,469	2.08
サジャップ	1,466	2.08
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,435	2.04

（注）持株比率は自己株式（245,022株）を控除して計算しております。

〈所有者別株式数分布状況〉



＊「個人・その他」には、自己株式245,022株を含めております。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料） 受付時間　9:00～17:00（土・日・祝祭日等を除く）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

ご 注 意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様アンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆様のご意見を伺い、今後のIR活動に活かしていきたいと考えております。つきましては、同封のはがき、または、ツムラホームページからアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

ツムラホームページ　http://www.tsumura.co.jp/

株式会社ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室　IR推進グループ
〒107−8521　東京都港区赤坂二丁目17番11号
TEL (03) 6361−7101

VEGETABLE OIL INK

UD FONT

ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。